

財政運営を！

9月
議会定例会

平成18年第3回定例会は、9月7日から25日まで開かれました。
一般会計補正予算、工事請負契約の締結など22議案が提出され、いずれも可決。
そのほか諮問（人権擁護委員の推薦）2件に同意、請願2件、陳情1件を採択しました。
議員発議で飲酒運転撲滅に関する緊急決議など6件を可決。
さらに、平成17年度公立おがた総合病院特別会計など2件の決算を認定しました。

一般会計補正予算

11億2547万円を追加

な 出 主 歳

将来のために

■地域振興基金積立金

10億円

公民館改築、

市道改良に

■電源立地地域対策事業費

2962万2千円

白杵―三重間維持

■バス路線維持対策費補助金

225万7千円

在宅障がい者を

支援

■障害者生活支援事業委託料

315万6千円

観光施設の

イメージアップ

■施設内の遊具などの修繕
（三ノ岳天体望遠鏡など）

150万円

■施設の工事請負費

（原尻の滝つり橋
落下防止柵設置
など）

340万円

市道を

しっかりと管理

■道路台帳統合システム
移行業務委託

2372万円

「まちの駅」を

アピール

■加盟33店舗へ貸与する
のぼりなどの購入

70万円



▲出合いと交流の拠点「まちの駅」
目印は、こののぼりです

効率的な

請願と陳情

採択

「多重債務を未然に防止し、消費者保護の徹底を求める意見書」の提出を求める請願書

- 趣旨
出資法の上限金利の引き下げや「みなし弁済」規定を廃止することなどを求める。
- 請願者
大分多重債務問題対策協議会
代表弁護士 渡辺 耕太
- 紹介議員
橋本 祐輔 安藤 豊作
清田 満作

採択

地方財務の充実・強化を求めることに関する請願

- 趣旨
地方交付税制度の財源保障と財政調整の機能を堅持し、一般財源の総額の確保と国から地方への過剰な関与を見直し、税源移譲と国庫補助負担金改革、税財政制度の改革を進めることの見解提出を求める。
- 請願者
豊後大野市職員労働組合
執行委員長 和田 貴彦
- 紹介議員
赤嶺 謙二 佐藤 生稔

採択

「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情

- 趣旨
地域住民の合意と納得を得ない集配局の廃止・再編は、行わないこと。離島や僻地、中山間地の郵便局を維持し、現在の集配局機能を存続することを求める。
- 陳情者
全国労働組合総連合
議長 坂内 三夫

条例
一部改正



大野町地域産物加工販売施設(大地)が道の駅の認定を受けたことに伴い、「道の駅おおの」を条例に追加しました。

物産館「大地」を追加

豊後大野市「道の駅」条例

出産育児一時金を35万円に

豊後大野市国民健康保険条例



平成18年10月1日
から一定以上の所得を有する70歳以上の人について、療養の給付に係る一部負担金の割合を現行の2割から3割にします。
また、出産に係る出産育児一時金の額を現行の30万円から35万円に増額するため改正するもの。